

市民セナリヨ 2018

日本人初の社会福祉事業家

岩永マキを訪ねるさるく

現在、浦上キリシタン資料館で開催中（6月末まで）の「岩永マキ展」とコラボして、5/26に講演会「日本人初の社会福祉事業家 岩永マキ」を企画しましたが、それに先立ち、「岩永マキを訪ねるさるく」を実施します。

◆プレゼンター：前田真里 元NCCアナウンサー（左）

◆ガイド&講演：シスター下窄優美



◆集合：2018年5月26日（土）09：50までに
聖フランシスコ病院前 コンビニ駐車場に集合

◆ルート：10：00 出発

①こうらんば墓地

（「浦上の聖人」と呼ばれた高木仙右衛門、岩永マキの墓）

②浦上養育院（現在でも続いている）

③お告げのマリア修道会 十字修道院（最初に孤児たちを収容した小部屋があった地に立つ）
～11：30 解散
（13：30 浦上キリシタン資料館で講演会開演）

◆定員：15名

◆参加料：500円（講演参加者は無料）

◆お申し込み：

浦上キリシタン資料館宛にご連絡先（氏名・住所・当日の携帯番号）を明記のうえ、電話、ファックス・メールでお申し込みください。
（5/20まで先着順で締め切り）

◆後援：marimonet（まりもねっと）

◆主催：

 アジェンダNOVAながさき

市民セナリヨ 2018 第一回

「日本人初の社会福祉事業家 岩永マキ」

主催：アジェンダNOVAながさき

日時：2018年5月26日
（13：30開演 15：30終了予定）

講師：シスター下窄優美
お告げのマリア修道会

会場：浦上キリシタン資料館
コミュニティスペース

参考上映：「復活の丘」第4回（NCC制作）

入場料：500円

申込締切：5月20日まで先着順

*浦上資料館宛てにご連絡先を明記の上、
電話、ファックス、メールでお申込ください。



20代後半のマキ
（1849年-1920年没）



マキの戸籍簿と養児名簿（明治31年請求）
この名簿に950余名の養子、養女が登記されている。

浦上のマザー・テレサ岩永マキ！

最後のキリシタン迫害「浦上四崩れ」が終わった明治6年、岡山の鶴島から帰った岩永マキ（当時24歳）たちを待っていたのは、荒れ果てた浦上、赤痢の蔓延、天然痘の流行、そして追い打ちをかけたのは記録的な台風の襲来でした。

そんな長崎には孤児があふれていました。マキたちは本原に「子部屋」のちの浦上養育院を開き、たくさん子どもたちを収容しました。これが日本で初めての「養育院」のはじまりだったのです。

「己の如く人を愛する」ということを生涯かけて実践し、現在の「お告げのマリア修道会」の原点を築いた、けた外れのスケールの女性、そんなマキに出会ってください。

展示品：◆岩永マキの戸籍簿、養児名簿 ◆マキ直筆の手紙 ◆浦上養育院その他の写真
◆東洋日の出新聞がマキにインタビューした記事全文 ◆その他多数

浦上キリシタン資料館

開館時間：10：00-17：00 休館日：月曜日（但し月曜が祭日の時はその翌日）

〒852-8116 長崎市平和町11-19

Tel&Fax 095-807-5646 E-mail: urakamicm@mx.a.cncm.ne.jp

■長崎電鉄「松山町」停留所徒歩5分 ■県営バス「浦上天主堂前」徒歩1分